



4月子育てカレンダー

1 木	おはなし広場 観
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	★2歳児歯科健診(H30.10月生まれ) 健
8 木	★1歳7か月児健診(R1.8月生まれ) 健 つくしんぼ広場 観
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	★乳児健康相談(R2.6月生まれ) 健
13 火	
14 水	離乳食教室(要予約) 健 赤ちゃん講座 観
15 木	★3歳児健診(H29.10月生まれ) 健 つくってあそぼう 観
16 金	わくわく広場 観
17 土	★パパママ教室(R3.8-9月出産予定) 健
18 日	
19 月	
20 火	プレママサロン マタニティフォト 観
21 水	子育て相談日(要予約) 健
22 木	★4か月児健診(R2.10月生まれ) 健 わんぱくデー 観 うたってあそぼう 観
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	
27 火	うどん広場 観
28 水	
29 木	
30 金	

■ 健はいつでも丹南健康福祉センター(健康課 ☎594-1117)です。★は対象者に個別に案内します。
 ■ 観の催しは丹南児童館(☎594-1003)です。
 おはなし広場=絵本読み聞かせ/つくしんぼ広場=人形劇、マジックなど/つくってあそぼう=つくってあそぶ体験、体をつくる遊び/うたってあそぼう=手遊び歌、わらべ歌など
 ■ 観の問い合わせはささやま子育てふれあいセンター(☎556-2100)/観はたんなん子育てふれあいセンター(☎594-1040)です。
 ■ 観はおとわの森 子育てママフィールドプティプリ(☎550-9036)です。
 ■ 詳細はアプリや市ホームページにも掲載。

※事業に参加される場合は、親子とも必ず検温をして体調確認の上、マスクを着用して(2歳未満のお子さんを除く)、ご参加ください。

注目イベント

4/14 (水)

赤ちゃん講座
「ほっとタイム」
 ところ 四季の森生涯学習センター
 内容 育児に関する講話、質問、赤ちゃん体操
 講師 保健師

対象 4カ月～1歳未満の子どもと保護者
 定員 7組(先着順)
 申込期限 4月9日(金)
 申し込み たんなん子育てふれあいセンター 観



4/22 (木)

わんぱくデー
「春のサーキットあそび」
 時間 10:00～11:00
 ところ 丹波篠山市B&G海洋センター体育館
 内容 トランポリンやマットを使ったサーキットあそび・絵の具を使ったスタンプあそび

対象 1～3歳未満の子どもと保護者
 定員 10組(先着順)
 持ち物 上靴(親子とも)、タオル、お茶
 申込期限 4月20日(火)
 申し込み ささやま子育てふれあいセンター 観
 ※汚れても良い動きやすい服装で参加してください。

プティプリイベント

4月から

「プレママサロン」
 プティプリでは、マタニティの方向けのワークショップイベントを毎月開催しています♪
 ところ おとわの森 子育てママフィールド プティプリ

内容 右図のとおり
 ※9月以降も同じサイクルで開催予定です。
 対象 妊娠中の方
 定員 4～5人(先着順)
 問い合わせ・申し込み おとわの森 子育てママフィールド プティプリ 観

詳しくはホームページをご覧ください



安心・便利 「ささっすくすくアプリ」を提供しています。「母子モ」で検索し、インストールしてください。問い合わせ 社会福祉課(☎552-7101)

VOL.4

恐竜編2 太古の生きものたち

太古の生きもの館

今回は、前回の角竜類に続く恐竜編その2ということで、西古佐にある丹波並木道中央公園(以下公園)で発見されたトロオドン類の化石についてお話しします。

ほぼ全てが篠山層群の上にある公園で発見されたトロオドンはどんな恐竜なのかというと、体長は約1mで、腕に鳥類のような羽毛を持ち、二足歩行をしていました。獣脚類で、恐竜類の中では恐らく一番有名なティラノサウルス・レックスの親戚筋にあたります。

腕に羽毛を持っていますが、残念ながら飛ぶ事はできないくらい小さな物です。ではなぜ飛ばない(飛べない)のに羽毛があるのでしょうか?一般的には飛べるように進化している最中だと考える方が大半だと思いますが、実は飛ばうと進化していたけれども、何らかの理由で飛ぶのを諦めた恐竜なのです。どうしてそのようなことが分かるのかというと、諦めた証拠が化石に残っているからです。恐竜類の生き残りである鳥類(カラス

もスズメもニワトリも全て恐竜類の生き残りです)は、飛ぶ事ができるように少しでも身体を軽くするため、骨の中は空洞になっています。トロオドンも同じように空洞になっているのですが、元々は大きかった空洞が小さくふさがりつつある状態になっています。飛ぶのをやめて陸上で生きていくには、歩いたり走ったりジャンプしたりと足に負担がかかるため、空洞を無くして骨を丈夫にする必要があったからなのです。

せっかく飛べるように進化していたのにそれを捨てるなんてもったいない!と思いますが、私たちには分からない深い事情があったのでしょうか?意外と飛ぶのが面倒になって挫折してしまっただけなのかもしれません。

化石保護技術員 奥岸明彦



▲トロオドン類 (ディノニコサウルス類)

ぼくとわたしの作品らんど

絵画 「洞窟のコウモリが寝ている」



暗闇の絵を描きたかったので、洞窟のコウモリを描きました。洞窟なので、ダイヤ鉱石や金鉱石もあります。寝ているコウモリを上手に描くことができました。



城東小2年生 中西洗彪さん

絵画 「青い海」



海が好きなので、イルカやたくさんの小魚を描きました。液体粘土と絵の具を混ぜたもので、指を使って描きました。色の混ぜ方を頑張りました。



城東小2年生 滝本真琴さん

絵画 「きれいな星空」



星空の写真がきれいだったので題材を選び、写真から広がるように絵の具で星空を描きました。指で筆をはじいて作った星がお気に入りです。



岡野小5年生 プラド サラさん

版画 「魚を食べたいオオタカ」



鳥の中でもオオタカが好きなので描きました。版画をした紙の裏から、色を塗っています。魚を捕る瞬間の足を特に工夫して描くことができました。



岡野小4年生 岸本琉飛さん

